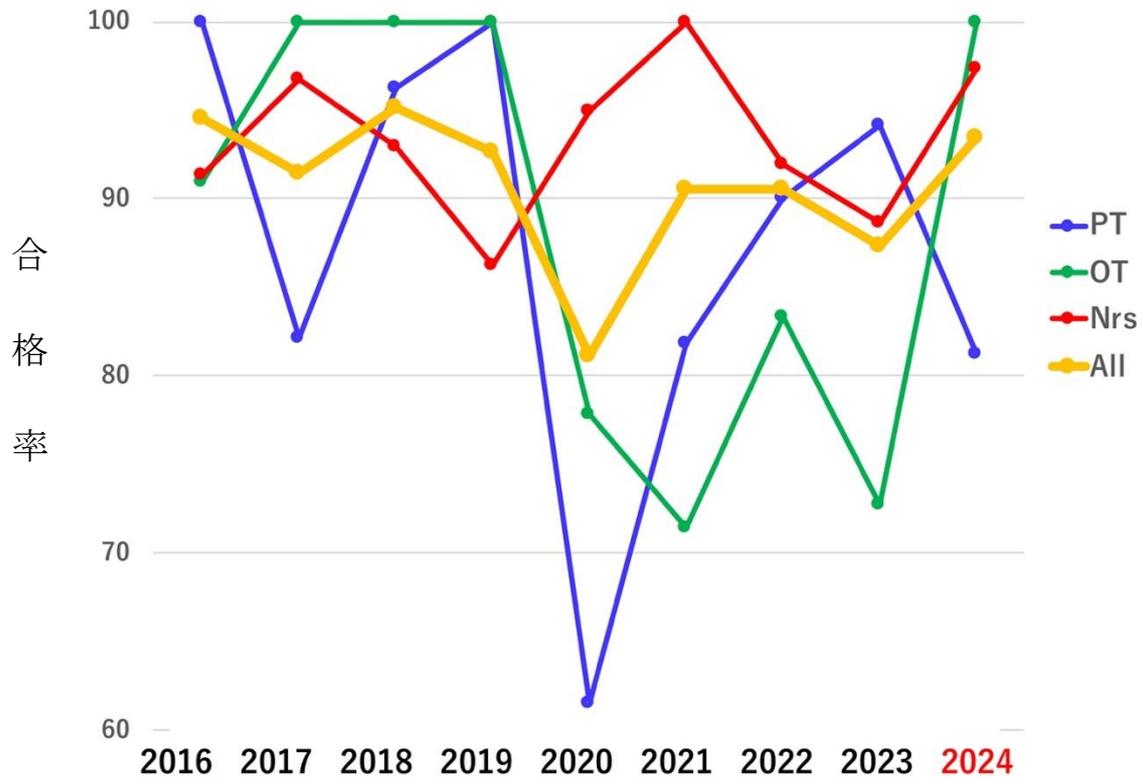


最近の国家試験合格率の推移



上図は最近9年間における国家試験合格率の推移を学科ごとに現したグラフである。理学療法学科（PT：青色線）および作業療法学科（OT：緑色線）の傾向としては、コロナ禍が始まった2020年の国家試験対策を感染防止の観点から学生の自主性に任せたところ、合格率が著しく低下してしまった。

その後、PTは以前の対応に戻したところ、順調に回復傾向を示してきた。

今年度は2017年レベルに低下してしまったが、ここ2～3年の推移から今後の向上が期待できるところまで回復していると考えられる。

一方、OTは今年度で完全復調になったといえる。それは、現役生だけでなく過年度卒生も全国平均を大きく上回る結果を示しているからである（このデータは図に示されていない）。

赤色線の看護学科（Nrs）は、コロナ禍でも個別対応による指導を実施してきたため大きな落ち込みがなかった。その中で培ったノウハウを改善し続けてきたところ、今年度は2021年度に次ぐ高いレベルまで復調してきた。

これまで多少の波があったが、今年度の良好な合格率維持の対策を、現在も進めている。黄色線は3学科の平均値であるが、この値から学校全体が復活基調にあることが明らかである。

今後も、現在のペースを維持するため更なる働きかけをしていきたい。